

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 356 『従容中道』 しょうよう ちゅうどう

< 意味 > あるがままの自然な振る舞いが道に合致すること。行動が自然で、みちにかなっていること。『中庸』では、自然な行動が天の道にぴったりと合うのが聖人の姿であり、成人の道であるとした。「従容として道に中<sup>あた</sup>たる」と訓読する。

< 出典 > 『中庸』 20章

語 釈 : 「従容」はゆったりとしたさま。くつろいださまのこと。「中庸」は道にぴったり当たるということ。

一 言 : 2月8日に行われた参議院選挙の結果は、自民党が圧勝し中道改革連合は大敗を喫しました。そこで中道の付く四字熟語を探していて見つけました。中道改革連合のネーミングの根拠とは違うようです。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」